

編 集 後 記

新年明けましておめでとうございます。「臨床神経学」の読者の皆様には、新たな希望を胸にさわやかな新春を迎えられたことと存じます。本誌がオープンアクセス可能な完全電子ジャーナルとして新たなスタートを切ってちょうど1年が経過しました。完全電子ジャーナル化に対しては、スタート前には賛否両論あり、その誕生は決して安産であったとはいえません。しかし、すでに1年が経過して学会員や読者からは、きわめてよい反応をいただいております。さらに、完全電子ジャーナル化とほぼ同時に、採択論文の電子版のWeb上での早期公開も実現しました。それにより、PubMed および Medline への論文情報の掲載も採択後、極めて短時間で実現しております。さらにもう一步、国際的な一流誌に近づいたといえるのではないのでしょうか。しかし、完全電子ジャーナル化の学会に対するもっとも大きな貢献はその財政改善への寄与であったといえるでしょう。臨床神経学刊行費は、2013年度決算では一般会計事業費におけるその26%を占めていました。これが2015年度予算では6%に著減しています。これは、完全電子化により冊子体作成費、送料、封筒代が皆無になったことが大きな要因と思われます。

2015度の新規投稿数は10月の時点で94編、昨年度に受け付けた繰り越し分を含めると採択論文は61編、不採択論文は30編、査読中の論文は34編に上ります。今期の

編集委員会での論文採択率は2015年11月の時点で66%となります。また採択判定までの平均所要日数は89日となっています。そして、すでに56巻2号まで掲載論文が決定しています。月単位の論文投稿数は順調に推移しており、編集委員長として学会員の皆様の臨床例への積極的な探究心に驚かされております。

臨床神経学電子ジャーナル全文PDFアクセスの状況については、2014年11月～2015年10月の期間のアクセス件数は1,435,592件に達しました。前年度の同期間アクセス数1,113,636件を大きく上回っています。「臨床神経学」は先に述べましたように、55巻から完全電子化とともに、オープンアクセスジャーナルとなりました。掲載論文は全てIDパスワードの認証無しで閲覧可能ですが、巻末に掲載される各地方会の後抄録は引き続き無期限での会員限定公開となります。これは、地方会后抄録は査読の過程を踏んでおらず、個人情報の確認が不十分であるためです。よろしくご理解ください。論文の種類では、例年通り「症例報告」および「短報」はコンスタントに投稿されておりますが、被引用度の高い「総説」の投稿がまだまだ少ないようです。是非、先生方のご専門の領域の「総説」を積極的にご投稿いただきたいと思います。本年も多くのご投稿をお待ちしております。

(鈴木 則宏)

〈 編 集 委 員 〉

編集委員長 鈴木 則宏 編集副委員長 河村 満
 編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡
 瀧山 嘉久 西野 一三 野村 恭一 星野 晴彦
 編集委員(幹事兼任) 園生 雅弘 高尾 昌樹 森 秀生

「臨床神経学」 第56巻 第1号 平成28年1月1日発行
 編 集 者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 一般社団法人日本神経学会
 発 行 者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 高 橋 良 輔
 印 刷 所 〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷株式会社

発 行 所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
 日 本 神 経 学 会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>